

## 議案1 住宅マスタープラン成果目標の設定について

事務局では、住宅マスタープランに掲げる各施策の進捗状況を計る手段として、それぞれの目標ごとにいくつかの成果目標を設定することを考えています。

今回事務局案として「議案資料1 成果目標（案）」のとおり、13項目の成果目標を提案させていただきますので、成果目標案についてご意見等がありましたら、別紙の回答書によりご回答いただきますようお願いいたします。

なお、今回の計画から新たに目標として設定する項目及び現行計画の指標から一部変更した項目については、赤字で記載しています。

また、現行計画の成果指標については、「議案資料2（現行）住宅マスタープラン成果指標の達成状況について」にまとめていますので、参考にしてください。議案資料2 右端欄に「→新目標〇」と記載している目標については議案資料1の成果目標の番号に対応しています。

### 各成果目標について

#### ① 既存民間住宅の耐震化率

「八尾市耐震改修促進計画」に記載している目標数値としています。同計画の目標年度が令和7年度になりますのでその旨を記載しています。

#### ② 空家法、条例に基づく管理不良空家等是正率

相談や通報のあった管理不良状態の空家等の解決した割合。「八尾市空家等対策計画」に記載している目標数値としています。同計画の目標年度が令和6年度になりますのでその旨を記載しています。

#### ③ 八尾市版リフォーム事業者の登録制度の創設

八尾市内のリフォーム事業者を登録し、リフォームを希望する市民等に紹介する制度の創設。登録の要件や登録に伴う講習会や研修会の開催について検討し、制度を創設することを目標としています。

#### ④ 共同住宅における共用部分のバリアフリー化率

「共同住宅の総戸数」に対する「道路から各子の玄関まで車いす・ベビーカーで通行可能な共同住宅戸数」の割合。現行計画から引続いて成果目標としています。

#### ⑤ 既存住宅の流通シェア（住宅の購入・新築・建替え等の総戸数に対する中古住宅（一戸建・長屋建）を購入した戸数の割合）

中古住宅の利活用の状況を現す数値を成果目標としています。

#### ⑥ 中古住宅流通促進補助制度の利用件数（年間）

令和2年10月から開始する、市外居住の若年世帯向けの中古住宅の取得、リフォーム費用の補助制度の利用件数を成果目標としています。

#### ⑦ 空家バンク登録者数（物件登録者＋利用希望者）

「八尾市空家バンク制度」の利用状況を現す数値として空家バンクに登録している空家等の所有者と空家物件を探している利用希望者の総数を成果目標としています。

⑧ 高齢者等の入居を拒否しない民間賃貸住宅(大阪あんぜん・あんしん賃貸支援事業)の登録数

現行計画に引き続き、本市も会員として参加している Osaka あんしん住まい推進協議会が行っている大阪あんぜん・あんしん賃貸支援事業の登録住宅数を成果目標としています。

⑨ 民間賃貸住宅の空家を活用した家賃補助制度の創設

住宅確保要配慮者を対象として、民間賃貸住宅の空家・空室を活用した家賃補助制度を行うことを検討しており、制度の創設を成果目標としています。

⑩ 市営住宅におけるバリアフリー化率

市営住宅の総戸数に対するエレベーター設置棟の戸数の割合。現行計画から引続いて成果目標としています。

⑪ 建築士、弁護士による住宅相談の稼働率(相談数/相談枠)

現行計画において、住宅相談の認知度を現す指標としてアンケート実施により認知度を算出していましたが、相談事業の活動状況を現す数値として稼働率を成果目標としています。

⑫ 住教育等の体験教室やセミナーの参加人数(年間)

八尾らしい住まいなどの住文化の継承に対する取組み状況を現す数値として、開催する体験教室やセミナーへの参加人数を成果目標としています。

⑬ ネットワーク施策展開の実施率(連携取組数/検討施策数(20))

「別途資料5 各施策の内容」において、行政と事業者、NPOなどが連携して実施することとしている施策のうち、取組みを実施した施策の割合を成果目標としています。